

取扱説明書

FLOLEX-NB
yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取付け、正しくご使用ください。

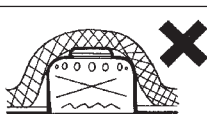
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

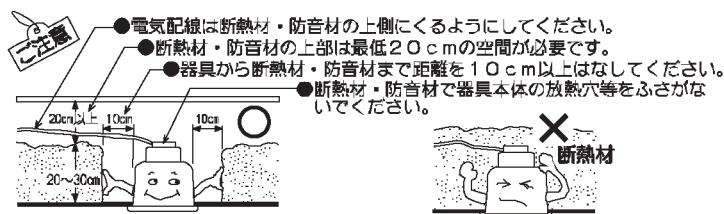
目次	1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
	2 ページ：定格表、部品名称と取付方法
	3 ページ：端子台への配線接続、ランプ交換のしかた
	4 ページ：システムユニットの取付方法
	5 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意
	6 ページ：保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警告

!	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。	
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。	
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。	⚡
⚡	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。	

断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について



◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。法律で禁じられています。

◇断熱材で覆わないでください。火災の原因になります。

◇住宅以外の建物に使用するとき、左図のように行って下さい。

⚠ 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇住宅の断熱施工されている屋根や天井には使用しないでください。法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となります。
- ◇反射鏡及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。
落下によるけがの原因となります。
- ◇周囲温度は、10℃～35℃の範囲で使用してください。**ちらつきや短寿命の原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

定格表

*調光タイプは「LUTRON ハイリウム」安定器搭載：調光範囲1%~100%

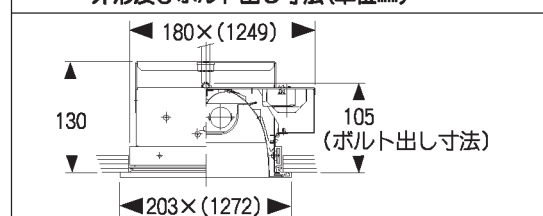
ハイスベックタイプ											
	カタログ番号 型番	定格使用電圧 周波数	定格入力電流			定格消費電力			力率	定格・適合ランプ	質量
			100~254V	100V	200V	100~254V	100V	200V			
非調光タイプ	J5141N 88JA-67G2-2N	100V~254V 50/60Hz	0.97 ~0.37A	0.97A	0.46A	94 ~91W	94W	91W	高力率	G13 Hf蛍光ランプ FHF32W×2 (昼白色 同梱)	7.0 kg
調光タイプ	J5143N 88JA-69G7-2N	100V 50/60Hz	0.78A			78W			高力率	G13 蛍光ランプ FLR40W×2 (昼白色 同梱)	
	J5144N 88JA-70G8-2N	200V 50/60Hz	0.39A			78W			高力率		

ミディアムスベックタイプ											
	カタログ番号 型番	定格使用電圧 周波数	定格入力電流			定格消費電力			力率	定格・適合ランプ	質量
			100~254V	100V	200V	100~254V	100V	200V			
非調光タイプ	J5142N 88JA-68G1-2N	100V~254V 50/60Hz	0.97 ~0.37A	0.97A	0.46A	94 ~91W	94W	91W	高力率	G13 Hf蛍光ランプ FHF32W×2 (昼白色 同梱)	7.0 kg
調光タイプ	J5145N 88JA-71G5-2N	100V 50/60Hz	0.78A			78W			高力率	G13 蛍光ランプ FLR40W×2 (昼白色 同梱)	
	J5146N 88JA-72G2-2N	200V 50/60Hz	0.39A			78W			高力率		

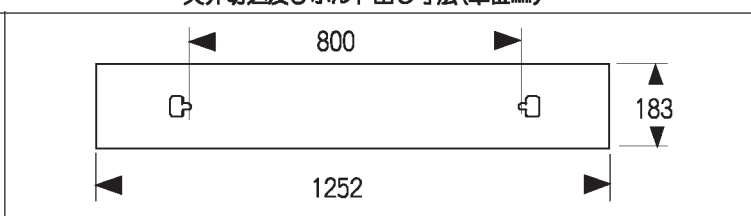
本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

部品名称と取付方法

外形及びボルト出し寸法(単位mm)



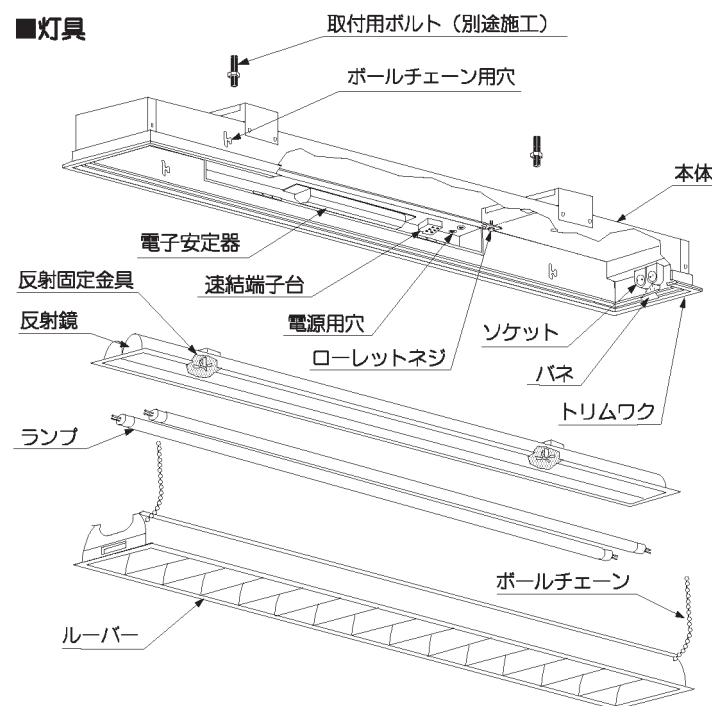
天井切込及びボルト出し寸法(単位mm)



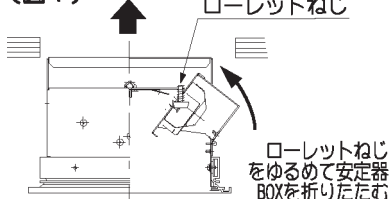
分解図

図は器具を省略・抽象化したものです。

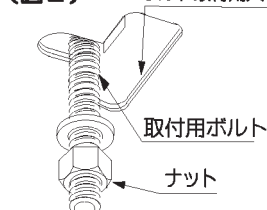
■灯具



(図1)



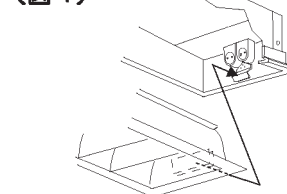
(図2)



(図3)



(図4)



■器具の取付方法

①本体を取付ける

天井切込寸法・ボルト出し寸法が寸法通りになっているのを確かめください。(必要に応じて天井切込穴の周りに野縁を組込んでください。)
(図1)のように安定器BOXを折りたたみ、切込穴へ入れて、(図2)のように本体をナットでボルトに取付けます。ナットを締めすぎると、本体・トリムのゆがみ等の原因となりますのでご注意ください。
不備がありますと、器具落下の原因になります。

②電源線及びアース線を端子台に接続する

調光・非調光タイプ別の詳細は、3ページの「端子台への配線接続」を参照してください。
電源線とアース線を電源穴より器具内部に引込み、指示に従い芯線を端子台に接続します。
アース線は電気設備基準及び内線規定に従って確実に行ってください。

接続が不完全な場合、定格容量を超えた場合は、火災・感電・不点灯の原因になります。

③反射板を取付ける

本体に反射固定金具で取付けてください。

④ランプを取付ける

適合ランプをお確かめのうえ、蛍光ランプをソケットに挿入してください。
不備がありますと不点の原因となります。

⑤反射鏡落下防止チェーンを取付ける。

反射鏡両端についているチェーンの先端を2~3玉入れて(図3)のように本体に引掛けてください。

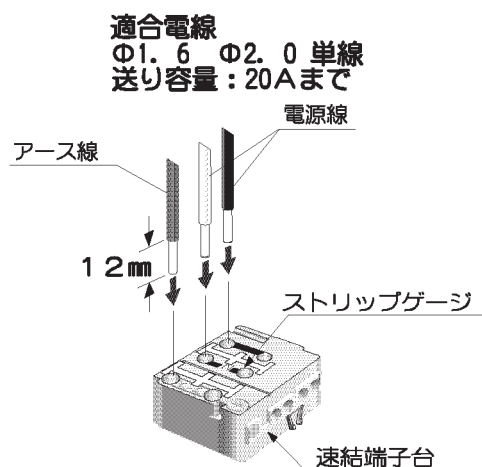
⑥反射鏡を取付ける

(図4)のように反射鏡側面の穴に、本体側のパネが合うように押し上げてください。

不備がありますと落下によるけがの原因となります。

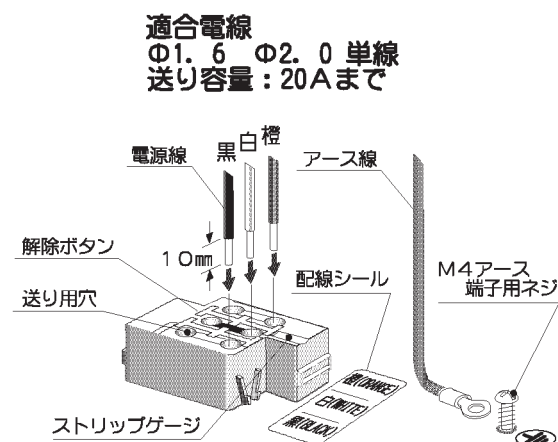
端子台への配線接続

■ J5141N・J5142N (非調光タイプ) の場合の端子台接続



電線をストリップゲージに合わせ、被覆をむいてください。(12mm)
矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

■ J5143N・J5144N J5145N・J5146N (LUTRON ハイリューム調光用安定器搭載) の場合の端子台接続



橙 (ORANGE)
Dim Hot

白 (WHITE)
Neutral

黒 (BLACK)
Sw Hot

「配線シール」記載内容

電線をストリップゲージに合わせ、被覆をむいてください。(10mm)
矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。
アース線は、アース端子用ネジを使用して、取付けます。

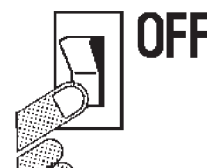
ランプ交換のしかた

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

カタログ番号	適合ランプ
J5141N・J5142N	G-13 Hf 蛍光ランプ FHF32W×2 (器具は昼白色を同梱しています)
J5143N・J5144N J5145N・J5146N	G-13 蛍光ランプ FLR40W×2 (器具は昼白色を同梱しています)

■ ランプの取付けかた

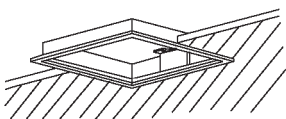
- 必ず電源を切ってから作業してください。感電のおそれがあります。
- 消灯直後のランプは高温になっていますので、10分間待ってから交換してください。やけどのおそれがあります。
- 最初にルーバーを取外してから、ランプを取付けます。ポールチェーンを外した場合は元通りに戻すのを忘れないでください。不備がありますと、器具落下のおそれがあります。
- 必ず上記の適合ランプを使用してください。誤って使用しますと、火災・不点灯・器具の破損のおそれがあります。



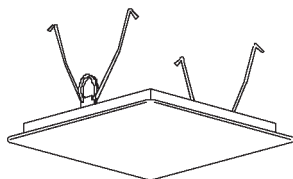
システムユニットの取付方法

■システムユニット(受注品)

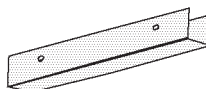
Z6056W
88UZ-08G8-ZW
設備ユニット□203



Z6058W
88UZ-10G6-ZW
ブランクパネル□182



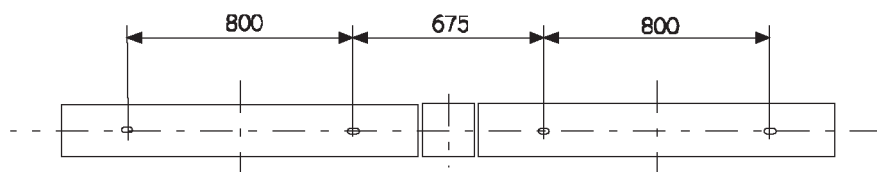
Z6060
88UZ-12G0-Z0
連結金具



Z6062
88UZ-14G5-Z0
設備ユニット吊具



■ボルト吊間隔寸法および天井切込寸法(図1)



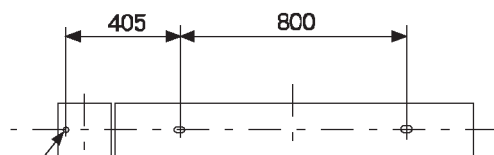
灯具中間に位地する場合

183
×
下記

天井切込寸法

$$(1272 \times N) + (203 \times n) - 20$$

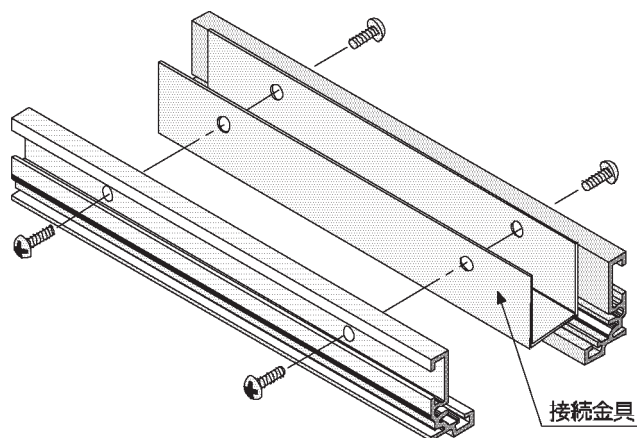
N: 灯具数
n: 設備ユニット数



灯具の端に位置する場合

ボルト吊用切欠き位置

■Z6060 連結金具 接続方法(図2)



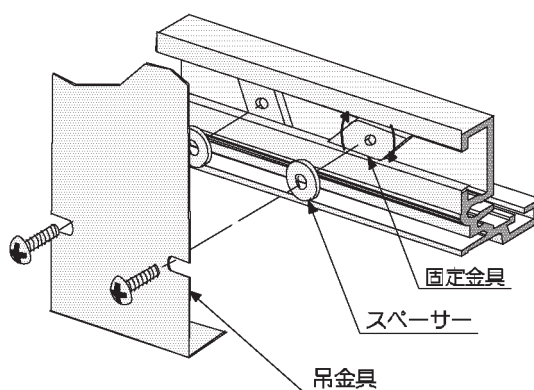
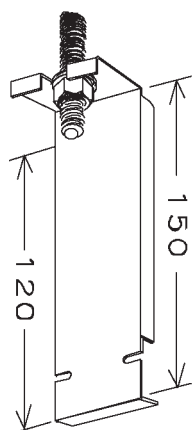
◇「ボルト吊間隔寸法および天井切込寸法」(図1)に従って、取付穴の工事を行ってください。

◇灯具および設備ユニットを連結する場合、トリム枠側面の穴に取付けネジを通し連結金具に締め付けて、灯具を連結してください。(図2)

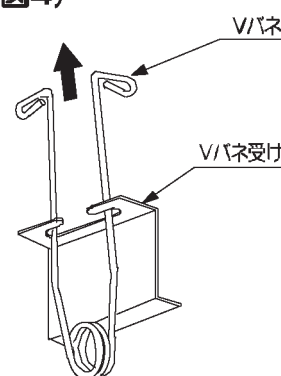
◇設備ユニットが、灯具の端に位置する場合には、(図1の下参照)設備ユニット吊具を必ず使用して、設置してください。(図3)
まず、ボルト出し寸法を調整し取付用ボルトに吊具を掛けます、次にトリム枠の内側面の溝に、固定金具を横向きにして挿入し、内側で縦向きに回転させた上でネジを締めて固定してください。

◇ブランクパネルを設備ユニットに取付けるには、両側のVバネを手で絞りVバネ受けに掛け、その後パネルを押し上げますと、バネの力で固定されます。(図4)

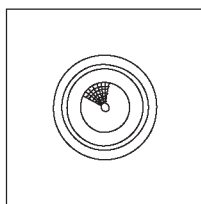
■Z6062W 設備ユニット吊具 取付方法(図3)



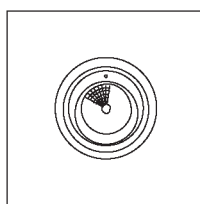
(図4)



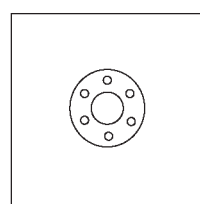
■設備ユニットシステム展開例



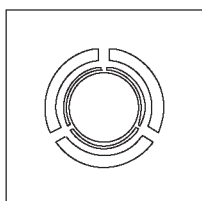
ダウンライト



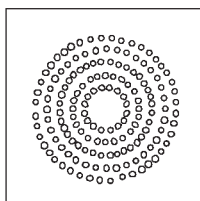
ADJダウンライト



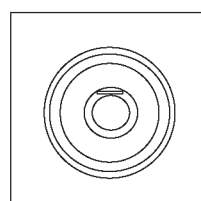
スプリンクラー



煙感知器



スピーカー



非常灯

◇設備ユニットは、お客様がご自由に加工して頂くことにより、上記の例をはじめとして、さまざまな目的の設備設置にご利用いただけます。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告

	感電のおそれがあります ◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。	
	感電・火災のおそれがあります ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。	
	感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。	
	やけどのおそれがあります ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。	
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。 ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。	

⚠ 注意

◇ランプ及び反射鏡の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。

落下によるけがの原因となることがあります。

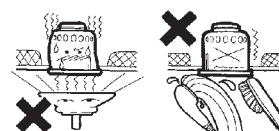
◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

器具の変形や火災の原因となることがあります。

◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。



保守とお手入れ



注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入っているか？
 - ・ランプが切れていないか？
 - ・ランプがソケットに確実にハマっているか？
- 低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがありますが、故障ではありません。時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。
- ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。早めにお取り替えください。

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ガラスはこれれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行ってください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。
- ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ リビナ本館	〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号 TEL(03)3253-5111(代表)
タ・ドリアデ 青山	〒107-0062 東京都港区南青山3丁目16番3号 TEL(03)5770-1511(代表)
東京営業部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 TEL(03)3253-5143(代表) 龍名館本店ビル10階
外商営業本部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 TEL(03)3253-5150(代表) 龍名館本店ビル10階
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地 TEL(011)221-1321(代表) ビア2・1ビル6階
仙台営業所	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目13番22号 TEL(022)227-1251(代表) 仙台松村ビル3階
横浜営業所	〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1丁目1番14号 TEL(045)664-2871(代表) 関内駅前エスビル8階
ヤマギワ 名古屋店	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号 TEL(052)931-2111(代表)
名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号 TEL(052)931-3223(代表)

ヤマギワ 大阪照明館	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3丁目5番1号 TEL(06)5258-6561(代表) 鴻池ビル1階
近畿営業部	〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町3丁目5番6号 TEL(06)5258-6721(代表) 御堂筋センタービル2階
金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号 TEL(076)222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階
高松営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号 TEL(0878)39-3195(代表) クリエイトビル302
広島営業所	〒730-0032 広島県広島市中区立町2番25号 TEL(082)249-5255(代表) 広島ロブロビル9階
福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号 TEL(092)721-5661(代表) 福岡ロブロビル7階
宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号 TEL(028)638-1002 マスミートールビル2階
高崎出張所	〒370-0071 群馬県高崎市小川町2008番5 TEL(0273)62-6920 三恵レジデンス107
静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号 TEL(054)273-5305 コーズガーデン406

Q350

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。